

2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月15日 東

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所  
 コード番号 3195 URL <https://www.genepa.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 洋明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 智也 (TEL) 03-5909-2937  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	2,999	9.2	△33	—	△49	—	△57	—
2020年10月期第1四半期	2,745	13.0	△42	—	△41	—	△39	—

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 △64百万円( —%) 2020年10月期第1四半期 △32百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	△7.09	—
2020年10月期第1四半期	△4.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期第1四半期	3,748	1,662	44.0	203.42
2020年10月期	3,707	1,726	46.3	211.61

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 1,651百万円 2020年10月期 1,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

2021年10月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、非常に不透明かつ不確実なものであり現時点において合理的に算定することが困難であるため記載しておりません。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年10月期1Q	8,277,240株	2020年10月期	8,277,240株
2021年10月期1Q	159,789株	2020年10月期	159,789株
2021年10月期1Q	8,117,451株	2020年10月期1Q	8,104,693株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大傾向が続き、2021年に入ると国内においても新型コロナウイルス感染症が再度拡大し始め、緊急事態宣言が再度発出される等、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する小売業界全体では、海外渡航の制限が世界中で続くことによるインバウンド需要の激減や個人消費の大幅減少により、売上の急減による利益の悪化が顕著となりました。一方、EC市場におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厚生労働省が「新しい生活様式」の実践を求めており、「いつでもどこでもネットショップで買い物ができる」ことから、EC需要や巣ごもり・テレワーク需要が喚起された結果、大幅に伸長しました。

このような状況の中、当社グループの主力事業であります「ECマーケティング事業」につきましては、各モールにおける施策等を講じた結果、家具・家電・生活雑貨等の売上が大きく伸長しました。また、主にECサポート事業を推進する当社子会社の株式会社カンナート（以下「カンナート社」といいます。）におけるECサポート案件増加の影響及びシステム開発に積極的に取り組んだ結果、売上高は前年同期を上回る水準となりました。

商品企画関連事業」につきましては、国内事業、当社子会社のGenepa Vietnam Co., Ltd.（以下、「ジェネパベトナム社」といいます。）及び当社子会社の青島新綻紡貿易有限公司（以下、「新綻紡社」といいます。）の全ての拠点において、新型コロナウイルス感染症及び第2回緊急事態宣言による影響を受け、全体的に納期の後ろ倒しが発生した結果、売上高は前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、ジェネパベトナム社におきまして、納期の後ろ倒しの影響に加え、生産ライン構築・人材教育といった投資コスト及び物流費用の増加等が主因となり、事業全体としては前年同期を下回る水準となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,999百万円（前年同期比9.2%増）、営業損失は33百万円（前年同四半期は営業損失42百万円）、経常損失は49百万円（前年同四半期は経常損失41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は57百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円）となりました。

セグメントの業績につきましては、以下のとおりであります。

#### ① ECマーケティング事業

「ECマーケティング事業」につきましては、前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で喚起されたEC需要やテレワーク・巣ごもり需要等、消費者ニーズを的確にとらえることにより、家具・家電・生活雑貨等の売上が好調であったこと及びカンナート社におけるECサポート案件等の売上が伸長させたこと等により、売上高は前年同期比で増収となりました。また、利益面におきましては、引き続き送料値上げの影響を自社で吸収している状況ではあるものの、在庫配置の適正化及び配送コストの上昇を抑えるなど精力的に各種利益改善に取り組んだ結果、前年同期比で増益となりました。

なお、海外でのECマーケティング事業につきましては、中国における新綻紡社等を拠点として、越境EC事業を積極的に継続していく方針であります。

以上の結果、売上高は2,625百万円（前年同期比19.0%増）となり、セグメント利益は63百万円（同167.2%増）となりました。

#### ② 商品企画関連事業

「商品企画関連事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による継続的な出荷遅延が発生しているため、売上高は前年同期比で減収となりました。

利益面におきましては、ジェネパベトナム社において納期の後ろ倒しの影響に加え、生産ライン構築・人材教育といった投資コスト及び物流費用の増加等が主因となり、事業全体としてのセグメント利益は前年同期比で減益となりました。

以上の結果、売上高は452百万円（前年同期比15.4%減）となり、セグメント損失は32百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

#### ③ その他

「その他」につきましては、非物販事業としておしゃれなインテリア・雑貨の紹介、それらの実例の紹介及び家に関するアイデアを紹介するWEBメディア「イエコレクション」（<https://iecolle.com>）に掲載する記事数やPV数の拡大に向けた人員増加等の先行投資を継続して実行してまいりました。当連結会計年度におきましては、売上高が好調に推移したことにより、売上面・利益面での寄与があり、翌四半期以降も引き続き売上面・利益面で寄与することが見込まれております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、3,748百万円となりました。流動資産は3,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が148百万円減少しましたが、取引高の増加により受取手形及び売掛金が125百万円増加、原材料及び貯蔵品48百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は402百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、のれんが5百万円減少したこと等により、無形固定資産が5百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ105百万円増加し、2,086百万円となりました。流動負債は、1,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、M&Aに関する資金の需要への備えとして締結したコミットメントライン契約による融資により短期借入金が180百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、265百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、長期借入金の返済により長期借入金が22百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、1,662百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が57百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が非常に不透明かつ不確実なものであり、EC需要・巣ごもり需要の高まりはさらに見込まれる一方で、新型コロナウイルス感染症の動向次第ではEC需要・巣ごもり需要の反動も想定されることから、現時点において合理的に算定することが困難であります。

今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,295	1,122,834
受取手形及び売掛金	803,072	928,324
商品及び製品	969,046	958,480
仕掛品	32,310	35,201
原材料及び貯蔵品	41,003	89,661
その他	178,083	212,307
貸倒引当金	△558	△658
流動資産合計	3,294,253	3,346,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,358	35,978
機械装置及び運搬具	140,314	147,279
工具、器具及び備品	52,193	43,361
リース資産	14,460	14,460
減価償却累計額	△65,183	△64,008
有形固定資産合計	178,142	177,070
無形固定資産		
のれん	159,780	153,861
ソフトウェア	21,420	22,189
その他	23	23
無形固定資産合計	181,224	176,074
投資その他の資産		
繰延税金資産	22,939	17,507
その他	31,216	31,739
投資その他の資産合計	54,155	49,247
固定資産合計	413,522	402,392
資産合計	3,707,775	3,748,544
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	717,133	820,100
短期借入金	260,000	440,000
1年内返済予定の長期借入金	90,204	90,204
リース債務	3,549	3,549
未払金	315,423	328,068
未払法人税等	117,777	5,314
賞与引当金	14,918	37,832
その他	175,248	95,549
流動負債合計	1,694,255	1,820,619
固定負債		
長期借入金	273,028	250,477
リース債務	6,447	5,559
資産除去債務	7,331	7,337
繰延税金負債	—	2,284
固定負債合計	286,806	265,658
負債合計	1,981,061	2,086,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,117	627,117
資本剰余金	620,267	620,267
利益剰余金	566,204	508,659
自己株式	△90,620	△90,620
株主資本合計	1,722,968	1,665,424
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,194	△14,211
その他の包括利益累計額合計	△5,194	△14,211
新株予約権	137	137
非支配株主持分	8,803	10,915
純資産合計	1,726,714	1,662,265
負債純資産合計	3,707,775	3,748,544

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年1月31日)
売上高	2,745,734	2,999,344
売上原価	2,024,046	2,157,204
売上総利益	721,688	842,140
販売費及び一般管理費	764,514	875,658
営業損失(△)	△42,826	△33,517
営業外収益		
受取保険金	2,823	152
助成金収入	—	2,363
その他	845	1,176
営業外収益合計	3,668	3,692
営業外費用		
支払利息	322	320
為替差損	1,903	19,509
その他	96	11
営業外費用合計	2,323	19,842
経常損失(△)	△41,480	△49,667
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,480	△49,667
法人税、住民税及び事業税	2,680	443
法人税等調整額	△5,914	7,716
法人税等合計	△3,233	8,160
四半期純損失(△)	△38,247	△57,828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,356	△284
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,604	△57,544



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純損失(△)	△38,247	△57,828
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,080	△6,674
その他の包括利益合計	6,080	△6,674
四半期包括利益	△32,166	△64,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,714	△66,560
非支配株主に係る四半期包括利益	2,547	2,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,205,345	534,445	2,739,790	5,943	2,745,734	—	2,745,734
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	637	660	1,297	—	1,297	△1,297	—
計	2,205,982	535,105	2,741,087	5,943	2,747,031	△1,297	2,745,734
セグメント利益 又は損失(△)	23,903	6,167	30,070	151	30,222	△73,048	△42,826

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△73,048千円には、各報告セグメントに配分をしていない全社費用△73,048千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したGenepa Vietnam Co.,Ltd.を「商品企画関連事業」に含めております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,619,937	364,132	2,984,070	15,274	2,999,344	—	2,999,344
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,265	88,627	93,892	—	93,892	△93,892	—
計	2,625,203	452,760	3,077,963	15,274	3,093,237	△93,892	2,999,344
セグメント利益 又は損失(△)	63,878	△32,420	31,457	1,662	33,119	△66,637	△33,517

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66,637千円には、各報告セグメントに配分をしていない全社費用△66,637千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。